

【山崎主宰の俳句】

なあ五月

山崎 聰

いつさいが春から夏へにんげんも
夏が来るうすくらがりのむこうから
ひとりつきりはやっぱいいぜなあ五月
見えているかあの山裾の黒い百合
アネモネがきれいに咲いてこの世広し
あるかなきかのこえ聞いている緑の夜
青葉潮生きているからざわざわと
夏の朝夏の匂いのすこしもなく
大きいものを大きく抱いて夏の闇
新緑がこっちへ来るよ月曜日